

佐潟自然情報

【3月】

3月前半は肌寒く感じましたが、だんだんと日差しが暖かく感じるようになりました。朝、霜が降りて真っ白になり、日中は気温もあがり霜がとけて穏やかな日もありました。木々は少しずつ芽吹き、足元のオオイヌノフグリやヒメオドリコソウなどの草花も顔を出してきました。

潟では、南から渡ってきたハクチョウが佐潟で羽根を休めたり、通過したりすることもありました。冬を過ごすカモたちも見られる数は少なくなりました。潟で過ごすカモたちは栄養を蓄えて子育てする場所へと渡っていきます。公園内でも冬を過ごしたジョウビタキやツグなどの冬鳥たちも渡っていく頃です。

また、この時期の佐潟は大きく見えます。なぜかというと潟の水を貯めるからです。田んぼで水が必要な時使うために貯めています。

春のやわらかいにおいや風を感じに、佐潟を歩いてみませんか。



〈 佐潟の様子 〉

■3月に見られたもの

〔植物〕

ノゲシ、ガマ、カンアオイ、ヒメオドリコソウ、オオイヌノフグリ、コハコベ、ミチタネツケバナ、
ヘクソカズラ、ガガイモ、フキノトウ、イヌムギ、カキドオシ、フキ、ツクシ、セイヨウタンポポ、
ヨモギ、スズメノヤリ、ハルノノゲシ、ミドリハコベ、スズメノカタビラ、ノボロギク、
ヤツデ、ヤブツバキ、アオキ、トベラ、エノキ、タチヤナギ、コブシ、オニグルミ、タブノキ、エゴノキ、
ノイバラ、シロダモ、ネムノキ、サルスベリ、マンサク、スイカズラ、レンギョウ、ユキヤナギ、
ナワシログミ、エドヒガン系



〈 コブシ 〉



〈 ソメイヨシノ 〉



〈 レンギョウ 〉



〈 ヒメオドリコソウ 〉

〔鳥類〕

キジ、オオハクチョウ（3月2日4羽）、オカヨシガモ、ヒドリガモ、マガモ、カルガモ、ハシビロガモ、オナガガモ、トモエガモ、コガモ、ホシハジロ、キンクロハジロ、ミコアイサ、カワアイサ、カイツブリ、カンムリカイツブリ、キジバト、カワウ、アオサギ、ダイサギ、コサギ、オオバン、ミサゴ、トビ、オオタカ、ノスリ、カワセミ、アリスイ、コゲラ、ハヤブサ、モズ、ミヤマガラス、ハシボソガラス、ハシブトガラス、シジュウカラ、ヒバリ、ヒヨドリ、ウグイス、エナガ、メジロ、ムクドリ、シロハラ、ツグミ、ジョウビタキ、スズメ、ハクセキレイ、アトリ、カワラヒワ、ベニマシコ、シメ、イカル、ホオジロ、カシラダカ、アオジ、オオジュリン、ガビチョウ



〈 ヒドリガモ 〉



〈 ジョウビタキ 〉



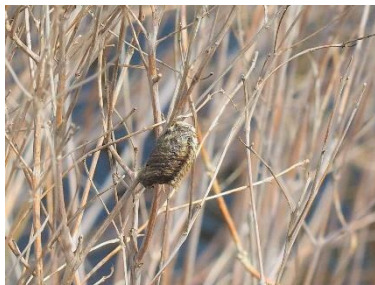
〈 ツグミ 〉



〈 シジュウカラ 〉

〔その他〕

ツマグロオオヨコバイ、モンシロチョウ、ハラビロカマキリの卵のう、オオカマキリの卵のう、
サカマキガイ、
アズマヒキガエル、ミシシippアカミミガメ、
ジネズミ（死体）、イタチ



〈 ハラビロカマキリの卵のう 〉



〈 オオカマキリの卵のう 〉



〈 アズマヒキガエル 〉



〈 イタチ 〉